

# 第68期中間期に関するご報告

2025年3月1日～2025年8月31日

High Quality & Low Price



# SUPER REPORT

長期ビジョン「西日本5000億円構想」  
中期経営計画「瀬戸内2814計画」スタートの年

★第68期中間期開店



山口県  
3 店舗

広島県  
32 店舗

岡山県  
28 店舗

兵庫県  
13 店舗

香川県  
15 店舗

愛媛県  
9 店舗

徳島県  
9 店舗



## Contents

- 事業のご報告 ..... 1
- トピックス [店舗開発] ..... 5
- 業績概要 通期の見通し&ハイライト情報 ..... 2
- 財務諸表 ..... 6
- 長期ビジョン・中期経営計画とビジネスモデル ..... 3



証券コード:2742



2025年11月

代表取締役社長 **佐藤 利行**

## 社 訓

和して向上 日々感謝

## 経営理念

- 一、地域社会の生活文化向上に貢献する
- 一、従業員の幸せづくり人づくりをする
- 一、お取引先様との共存共栄をはかる
- 一、成長発展のため利益を確保する

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

ここに「第68期中間会計期間に関するご報告」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間会計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調及び雇用・所得環境の改善等が見られる一方、物価高、人手不足及び日々変化する国際情勢等の複合的な要因により先行きに不透明感を残す状況で推移しました。小売業界を取り巻く環境につきましては、様々な要因による物価の高騰等を背景に、日常の買物での生活防衛意識はさらに強まり、低価格志向が続きました。一方、スーパーマーケット業界では、原材料の高騰等による商品価格の上昇を背景に、既存店の売上高は堅調に推移しました。このような状況の中で当社は、次の取り組みを行いました。

- ①商品面 重点販売商品の育成  
適切な品質かつ低価格を基本コンセプトとしたプライベートブランド商品のシェアアップ  
岡山県立大学との共同開発による「栄養バランス弁当」第13弾発売
- ②販売促進面 生活防衛企画及び自社カード(ハロカ)及びアプリ(ハロプリ)会員に対する買い物優遇施策
- ③店舗運営面 全店24時間営業を継続  
既存店4店舗の大改装による店舗の魅力アップ  
自動発注システム拡大による業務改善
- ④店舗開発面 2店舗の新規出店
- ⑤社会貢献面 食品ロス削減の仕組みである「ハローズモデル」を中心に、各自治体、フードバンク事業関連団体及び企業と連携した活動  
自社エコセンターによる資源の再利用化  
店頭回収したエコキャップの収益を各自治体へ寄付
- ⑥組織面 正社員及び嘱託社員を対象に賃金のベースアップを実施

以上の結果、当中間会計期間の営業収益は1,115億49百万円(前期比8.0%増)、営業利益は58億58百万円(前期比1.9%増)、経常利益は59億5百万円(前期比2.5%増)、中間純利益は40億85百万円(前期比2.2%増)となりました。営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。また、当社は商品小売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は記載しておりません。

### ○配当金の推移



## 業績概要

### 営業収益

売上高は、前年同中間期に比べ80億82百万円増加し、1,084億85百万円(前年同期比8.0%増)となり、営業収入は、前年同中間期に比べ1億74百万円増加し、30億63百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

以上の結果、営業収益は、前年同中間期に比べ82億57百万円増加し、1,115億49百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

この主な要因は、前事業年度開店店舗の増収と、既存店舗の売上・客数の増加によるものであります。なお、既存店舗の売上高は、前年同期比105.9%、既存店舗の客数は、前年同期比103.3%となりました。

### 営業利益

営業利益は、前年同中間期に比べ1億9百万円増加し、58億58百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

この主な要因は、売上高の増加に伴う営業総利益の増加によるものであります。

### 経常利益

経常利益は、前年同中間期に比べ1億46百万円増加し、59億5百万円(前年同期比2.5%増)となりました。売上高に対する経常利益の比率は、前年同中間期と比べ0.29ポイント減少し、5.44%となりました。

### 中間純利益

税引前中間純利益につきましては、前年同中間期に比べ1億59百万円増加し、59億12百万円(前年同期比2.8%増)となり、法人税等は前年同中間期に比べ72百万円増加し、18億26百万円(前年同期比4.1%増)となりました。その結果、当中間期における中間純利益は前年同中間期に比べ87百万円増加し、40億85百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

## 通期の見通し

通期の見通しにつきましては、景気は引き続き回復基調を維持するとの見方があるものの、物価の上昇等により、消費マインドの冷え込み懸念など、生活防衛意識による慎重な購買活動及び低価格志向が続くものと見込まれます。加えて、人口の減少、年齢構成及びライフスタイルの変化などが続き、これらへの対応及びオーバーストアなどの競争環境激化への対応が迫られております。

このような環境の中、変化・競争へ柔軟に対応しつつ、新規出店及び既存店の改装を積極的に行い、お客様満足度の高い店舗により商勢圏内での優位性確立を目指してまいります。

以上により、次期の業績の見通しは、営業収益2,242億18百万円(前期比6.4%増)、営業利益123億20百万円(前期比0.4%増)、経常利益123億60百万円(前期比0.5%増)、当期純利益85億90百万円(前期比3.6%減)を見込んでおります。

### 営業収益

(百万円)



(注)「営業収益」は、「売上高」と不動産賃貸収入等の「営業収入」を総称したものです。

### 営業利益

(百万円)



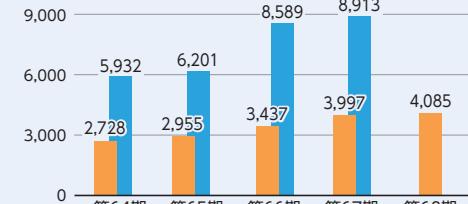
### 経常利益

(百万円)



### 中間(当期)純利益

(百万円)



(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第65期の期首から適用しており、第65期以降に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

# 長期ビジョン・中期経営計画とビジネスモデル

第68期は長期ビジョン「西日本5000億円構想」と中期経営計画「瀬戸内2814計画」を新たにスタートいたしました。

## 長期ビジョン

# 西日本5000億円構想

西日本の主要都市(兵庫県以西)にハローズの店舗をドミナント出店し、250店舗規模で店舗展開を行い、営業収益5000億円を目指します。

長期ビジョン  
西日本5000億円構想

中期経営計画  
瀬戸内2814計画

## 中期経営計画

# 瀬戸内2814計画

瀬戸内周辺の主要都市において、お客様に「より良い商品」を「低価格」で提供し、2030年2月期までに、140店舗体制で営業収益2800億円を目指します。

## ハローズのビジネスモデル

ビジネス  
モデル  
1

### 24時間トータルオペレーションシステム

#### 24時間店舗運営システム

24時間の効率的な作業システムを構築することで、様々なお客様のニーズに対応した品揃えが安定的にできるようにしています。

#### 24時間物流システム

配送センターから店舗へ商品をタイミングよく配送するようにシステムを設計することで、常に新鮮な商品が店舗に届くようにしています。

#### 24時間情報システム

「24時間店舗運営システム」と「24時間物流システム」をつなぐ情報システムを24時間運営することでお客様にスムーズに商品を提供できるようにしています。

ビジネス  
モデル  
2

### 600坪型店舗のNSC

#### 600坪型標準店舗

天井の高さや通路の幅等快適なお買物空間と、365日の食生活を支える品揃えを実現するために、600坪型の店舗を標準として出店しています。

#### NSC<sup>※</sup>による利便性の提供

普段の暮らしに直結した商品を扱うテナントを集結することで、お客様にとって便利なショッピングセンターを構築しています。

※NSC(近隣購買型のショッピングセンター)

#### 新規出店計画

600坪型店舗のNSCを標準として、年間に6~7店舗を出店できるように計画をすすめています。

600坪型比率

83.5%

NSC比率

78.0%



## 「西日本5000億円構想」の目標

企業価値向上  
長期的な株価上昇・PBR上昇

営業収益	店舗数	成長率／年	当期純利益率
5,000億円	250店舗	5～10%	3.5～4%
PBR	株主資本コスト	WACC	ROE
1倍以上	5～7%	4～6%	10%以上

## 「瀬戸内2814計画」の目標

「瀬戸内2814計画」末時点 財務目標		
営業収益	経常利益	当期純利益
2,800億円	148億円	103億円
店舗数	配当性向	
140店舗	中計末 20%目標	

「瀬戸内2814計画」期中 財務目標			
新店投資	物流投資	既存店投資	人的資本投資
約600億円	約70億円	約70億円	約350億円
PBR	ROE	株主資本コスト	
1倍以上	10%以上	5～7%	

「瀬戸内2814計画」期末 ビジネスモデルKPI			
NSC化比率	売場面積 600坪型比率	24時間営業 店舗	店舗年齢
80%以上	85%以上	100%	6歳代維持

「瀬戸内2814計画」末時点 非財務目標	
1店舗当たりCO <sub>2</sub> 排出量	フードバンク等への食料品の寄贈
2022年2月期比 70%	490t

※詳細はサステナビリティレポートをご参照ください。

ビジネス  
モデル  
3

## 製造・物流・販売の総括的マネジメント

### 物流センターの稼働と高度運用

商圏拡大に伴って、全センター間の連携を強化しながら、物流の効率化、品質の向上をはかっています。

### お客様のニーズに対応したより良い品をより安く

当社はデリカセンター、青果PC、藤屋(惣菜製造の関連会社)、お取引先様との連携を行い、より良い品をより安く、そしてお客様の新たなニーズへの対応をするため商品開発を行っています。

### 自社開発商品「ハローズセレクション」

プライベートブランド商品の「ハローズセレクション」は「毎日の生活により良い商品をより求めやすく」がコンセプトです。安全な品質とお値打ち価格の「生活応援ブランド」として世界のベストソースから調達・開発しています。

PB総品目数

921品目

売上高構成比

13.6%

2025年8月末

## 第68期上期の新規出店と改装状況 第68期上期は岡山県1店舗、山口県1店舗の新規出店を行いました。

既存店のドミナント化を中心に600坪型24時間営業の2店舗の新規出店により、店舗数は広島県32店舗、岡山県28店舗、香川県15店舗、愛媛県9店舗、徳島県9店舗、兵庫県13店舗、山口県3店舗の合計109店舗となりました。

既存店は4店舗を改装しました。内1店舗は店舗を新築し300坪から600坪型にすることで「地域密着及び簡便性商品等の充実を目的とした品揃え・レイアウト変更」と「省エネ対応をふまえた店内設備の改修工事」を実現いたしました。

### 新規出店店舗

ハローズ にしふるまつでん 西古松店 岡山県岡山市

2025年  
6月20日開店



ハローズ うべでん 宇部店 山口県宇部市

2025年  
7月12日開店



店舗年齢

6.5歳

(注) 2025年8月末時点

### 改装店舗 (新築)

ハローズ てしりてん 手城店

広島県福山市



300坪から  
600坪型に  
新築

2025年7月26日リニューアルオープン

### 改装店舗

ハローズ はなじりてん 花尻店

岡山県岡山市



2025年3月15日リニューアルオープン

ハローズ かんなべもこらでん 神辺モール店

広島県福山市



2025年5月30日リニューアルオープン

ハローズ りつりんこうえんでん 栗林公園店

香川県高松市



2025年8月30日リニューアルオープン

# 財務諸表

## ■ 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	第67期中間期末 2024年8月31日現在	第68期中間期末 2025年8月31日現在	第67期 2025年2月28日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	37,995	37,483	23,040
現金及び預金	28,028	26,070	13,851
その他	9,975	11,424	9,200
貸倒引当金	△8	△11	△11
固定資産	84,130	95,270	89,829
有形固定資産	71,656	82,632	77,204
無形固定資産	860	927	904
投資その他の資産	11,612	11,710	11,720
<b>資産合計</b>	<b>122,126</b>	<b>132,754</b>	<b>112,869</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	39,990	42,235	25,599
買掛金	24,604	26,113	11,331
一年内返済予定の長期借入金	3,520	3,313	3,219
リース債務	356	316	343
未払金	2,377	3,361	1,507
未払費用	2,303	2,406	1,706
未払法人税等	1,917	2,026	2,046
その他	4,909	4,696	5,445
固定負債	16,101	17,039	16,841
長期借入金	8,480	7,219	7,054
リース債務	503	457	511
退職給付引当金	877	931	909
資産除去債務	1,702	3,992	3,860
預り建設協力金	1,003	925	943
長期預り敷金保証金	2,340	2,419	2,376
長期前受収益	913	869	905
その他	281	222	281
<b>負債合計</b>	<b>56,092</b>	<b>59,274</b>	<b>42,441</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	65,817	73,244	70,193
資本金	5,483	5,504	5,491
資本剰余金	5,436	5,465	5,444
利益剰余金	55,064	62,782	59,424
自己株式	△166	△508	△166
評価・換算差額等	1	0	0
その他有価証券評価差額金	1	0	0
新株予約権	215	234	234
<b>純資産合計</b>	<b>66,034</b>	<b>73,479</b>	<b>70,428</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>122,126</b>	<b>132,754</b>	<b>112,869</b>

(注)各諸表の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 中間損益計算書

(単位:百万円)

	第67期中間期 2024年3月1日から 2024年8月31日まで	第68期中間期 2025年3月1日から 2025年8月31日まで	第67期 2024年3月1日から 2025年2月28日まで
売上高	100,403	108,485	204,846
売上原価	74,691	81,193	152,251
売上総利益	25,711	27,292	52,595
営業収入	2,889	3,063	5,906
営業総利益	28,601	30,356	58,501
販売費及び一般管理費	22,851	24,497	46,230
営業利益	5,749	5,858	12,270
営業外収益	71	97	142
営業外費用	61	50	111
経常利益	5,759	5,905	12,301
特別利益	0	6	13
特別損失	7	0	152
税引前中間(当期)純利益	5,752	5,912	12,162
法人税等	1,754	1,826	3,249
中間(当期)純利益	3,997	4,085	8,913

## ■ 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第67期中間期 2024年3月1日から 2024年8月31日まで	第68期中間期 2025年3月1日から 2025年8月31日まで	第67期 2024年3月1日から 2025年2月28日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	22,145	21,326	15,892
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,677	△7,089	△13,757
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,770	△990	△5,245
現金及び現金同等物 に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物 の増減額(△減少額)	11,697	13,247	△3,110
現金及び現金同等物 の期首残高	18,139	15,028	18,139
現金及び現金同等物 の中間期末(期末)残高	29,836	28,275	15,028

# 会社情報

## 会社概要

(2025年8月31日現在)

会社設立 1958年10月14日  
会社名 株式会社ハローズ  
資本金 55億484万円  
本社 広島県福山市南蔵王町六丁目26番7号  
(同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。)  
本部 岡山県都窪郡早島町早島3270番地1  
電話番号:086-483-1011(代表)  
従業員数 1,474名  
事業内容 食品スーパーマーケット業(食料品、日用雑貨品等の販売)  
店舗数 109店舗  
(広島県32店舗、岡山県28店舗、香川県15店舗、愛媛県9店舗、徳島県9店舗、兵庫県13店舗、山口県3店舗)

## 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
定時株主総会 毎年5月  
剰余金の配当基準日 中間 毎年8月末日  
期末 毎年2月末日  
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777(通話料無料)  
○特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行(口座管理機関)の上記電話及びインターネットでも24時間承っております。  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>  
○株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
上場金融商品取引所 東京証券取引所プライム市場  
単元株式数 100株  
公告掲載方法 電子公告  
公告掲載URL <https://www.halows.com/>  
○やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

## 役員

(2025年8月31日現在)

代表取締役社長	佐佐木高末	佐藤光	利太秀正	行志典名
取締役副社長	佐藤高末	藤橋光	憲新	司三
専務取締役	佐藤高末	藤橋光	憲新	典江
専務取締役	佐藤高末	藤橋光	憲新	明正
常務取締役	佐藤高末	藤橋光	憲新	均策
常務取締役	佐藤高末	藤橋光	憲新	子
取締役	佐藤高末	藤橋光	憲新	
取締役	佐藤高末	藤橋光	憲新	
取締役(社外)	佐藤高末	藤橋光	憲新	
取締役(社外)	佐藤高末	藤橋光	憲新	
常勤監査等委員(社外)	佐藤高末	藤橋光	憲新	
監査等委員(社外)	佐藤高末	藤橋光	憲新	
監査等委員(社外)	佐藤高末	藤橋光	憲新	
監査等委員(社外)	佐藤高末	藤橋光	憲新	

## 株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。また、株主の皆様への感謝を込めて、株主優待制度を設けております。

所有株式数	株主ご優待券
100株以上	1,000円相当(500円優待券2枚)
500株以上	5,000円相当(500円優待券10枚)
1,000株以上	10,000円相当(500円優待券20枚)

### 利用方法

- ・当社の店舗にて、お酒・煙草・商品券等を除いた税抜き500円以上のお買物につき、お買い上げ金額税抜き500円ごとに1枚利用できます。
- ・有効期限 発行された翌年の5月末日まで

### 進呈時期

- 毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録されている100株以上ご所有の株主様に対し、年1回5月末日頃発送の予定をしております。
- なお、当社店舗所在の市町村及び隣接する市町村以外に在住の株主様につきましては、上記基準による株主ご優待券にかえて「QUOカード」を進呈いたします。



High Quality & Low Price



ハローズ ホームページのご案内 <https://www.halows.com/>

ハローズ財団 ホームページのご案内 <http://www.halowszaidan.or.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。環境にやさしい植物油インクにて印刷しています。